

高温による水稻被害、100畝にも

一般質問で水稻等被害の課題と対策を問う

9月議会での私の一般質問から。今回は渇水と高温による農作物などの被害対策です。

【橋爪】最新の情報に基づく被害実態について聞きたい。

【中川市長】新潟県農業共済組合上越支所からは、水稻共済の損害評価において、9月20日現在で約100ヘクタールの被害申告を受けており、順次確認していると聞いています。また、9月20日現在の県上越地域振興局の概況調査において、枝豆やブロッコリーなどの園芸作物で約21ヘクタール、畜産では乳用牛3頭、肉用牛1頭、採卵鶏1280羽の死亡などの被害を確認している。

コメの品質については、少雨と高温の影響により生育状況が変化し、いずれの品種も平年に比べて形や色などの形質において充実度・品質ともに劣り、上位等級比率は落ち込む見通しとされており、収量と品質の低下による農業経営への影響が心配される。

【橋爪】特に中山間地域において、今後も営農を継続

してもらったために、どのような課題があると考えているか聞きたい。

【市長】中山間地域においては、営農を継続していく上で、地形的な要因により

水利利用を始めとした生産基盤に制約があることが大きな課題の一つだ。

まずは、渇水により深くひび割れた水田を速やかに復旧し、用水をしっかりと貯められる水田へと戻し、来年の耕作に対する農業者の不安を少しでも和らげ、生産意欲の維持や営農の継続につなげてまいりたい。

【橋爪】国や県に対して、どのような要請をしているか。

【市長】県に対しては、「知事と市町村長との懇談会」の場において、花角知事に、渇水対策への支援について、妙高市長、糸魚川市長と一緒に要請した。国に対しては、国の災害復旧事業の対象規模に満たないことから、要請は行っていない。

干ばつ対策の議論、委員会でも

9月議会最終日の9月27日、農政建設常任委員会（上のイラスト）で渇水、干ばつ被害対策関連の補正予算について審議されました。

委員会には農地の渇水・高温対策の最新資料が配布されました。補助金申請のうちポンプの購入が116台にもなっていました。

私は委員ではありませんでしたが、審査の中で、関係農家の声を聴きながら抜本的な対策を急ぐこと、農地の復旧工事における自己負担の割合（現行35%）を下げる協議を県と進めることの2つを求めました。



【ノササゲ】マメ科で、つる性の多年草。漢字で、「野大角豆」と書きます。私の地元、代石池の周回道路で見つけました。茎は黒紫色で、葉は3小葉からなります。花期は8～9月ですが、まだ咲いています。花は淡黄色で、長さは2センチほどあります。花言葉は「甘い乙女心」です。写真は10月8日に撮影しました。

祝 吉川区敬老会



市内各地で敬老会が開催されています。その多くは4年ぶりの開催で、久しぶりに再会した人たちが喜んでいました。このうち吉川区敬老会は先日、行われました。第1部は式典です。私も挨拶させていた

だきました。お楽しみは第2部です。よしかわ保育園の園児の踊り、「あけぼの会」の踊り、「ささぐり演芸」のみなさんの歌と芝居、そしてピアスの懐かしい歌声に大きな拍手が送られました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2130 2023.10.15
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

高温による水稻被害、100畝にも

一般質問で水稻等被害の課題と対策を問う

9月議会での私の一般質問から。今回は湯水と高温による農作物などの被害対策です。

【橋爪】最新の情報に基づく被害実態について聞きたい。

【中川市長】新潟県農業共済組合上越支所からは、水稻共済の損害評価において、9月20日現在で約100ヘクタールの被害申告を受けており、順次確認していると聞いています。また、9月20日現在の県上越地域振興局の概況調査において、枝豆やブロッコリーなどの園芸作物で約21ヘクタール、畜産では乳用牛3頭、肉用牛1頭、採卵鶏1280羽の死亡などの被害を確認している。

コメの品質については、少雨と高温の影響により生育状況が変化し、いずれの品種も平年に比べて形や色などの品質において充実度・品質ともに劣り、上位等級比率は落ち込む見通しとされており、収量と品質の低下による農業経営への影響が心配される。

【橋爪】特に中山間地域において、今後も営農を継続

してもらったために、どのような課題があると考えているか聞きたい。

【市長】中山間地域においては、営農を継続していく上で、地形的な要因により

水利用を始めとした生産基盤に制約があることが大きな課題の一つだ。

まずは、湯水により深くひび割れた水田を速やかに復旧し、用水をしっかりと貯められる水田へと戻し、来年の耕作に対する農業者の不安を少しでも和らげ、生産意欲の維持や営農の継続につなげてまいりたい。

【橋爪】国や県に対して、どのような要請をしているか。

【市長】県に対しては、「知事と市町村長との懇談会」の場において、花角知事に、湯水対策への支援について、妙高市長、糸魚川市長と一緒に要請した。国に対しては、国の災害復旧事業の対象規模に満たないことから、要請は行っていない。

干ばつ対策の議論、委員会でも

9月議会最終日の9月27日、農政建設常任委員会（上のイラスト）で湯水、干ばつ被害対策関連の補正予算について審議されました。

委員会には農地の湯水・高温対策の最新資料が配布されました。補助金申請のうちポンプの購入が116台にもなっていました。

私は委員ではありませんでしたが、審査の中で、関係農家の声を聴きながら抜本的な対策を急ぐこと、農地の復旧工事における自己負担の割合（現行35%）を下げる協議を県と進めることの2つを求めました。



【ノササゲ】マメ科で、つる性の多年草。漢字で、「野大角豆」と書きます。私の地元、代石池の周回道路で見つけました。茎は黒紫色で、葉は3小葉からなります。花期は8～9月ですが、まだ咲いています。花は淡黄色で、長さは2センチほどあります。花言葉は「甘い乙女心」です。写真は10月8日に撮影しました。

ヤナギバヒマワリをバックに記念撮影する人たち。8日、安塚区にて



はしづめ法一の活動レポート

No.2130 2023.10.15

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のいかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七七七回

電気スタンド

母が亡くなった日から一年が経った先週の日曜日、私のすぐ下の弟夫婦が愛知県から帰省しました。大湊区に住む、その下の弟、勇もわが家にやってきました。

翌日の一周忌法要を前に、「たまにや、兄弟で飲んで、トチャヤカチャの話でもしようさ」ということで寄ったのです。

愛知県の弟がわが家に着いたのは午後七時頃でした。昨年、母が亡くなる三週間ほど前に、一度帰省し、母に声をかけて励ましてくれたのですが、その後は葬儀の時も含めて来ていませんでした。亡くなってから母に会うのは今回が初めてです。

家に入ってからすぐに、仏壇脇の母の遺骨と遺影の前に行った弟は、母の小さなコッポ袋をのぞき、「カチャ、来たよ」と言っ

て声をかけました。亡くなった母に弟の声が届いたかどうかはわかりません。でも、母は喜んだことと思います。

三人の兄弟がそろったところで、缶入りの生ビールで乾杯していったばい会はスタートしました。今回は愛知の弟が飲み物や食べ物を用意してくれました。大湊区の勇もブドウなどを持ってきてくれました。刺身やてんぷら、豚しゃぶ焼きなどを食べながら、ビールを二缶ほど飲みました。

この日は大湊区の勇がまず、父の思い出を語り始めました。

「この家にある骨董は大きな甕(かめ)などみんなトチャヤが集めたものだ」「だしかにそつだな」

「トチャヤが自分でつくった木彫りの飾り物には『末代古楽』というのが押してあった。そのもとの焼きごて(ハンコ)、どこに行ったらもなかね」

「牛舎、壊した時、どっかに片づけたかもしんねな。どこだか、わからん」
「トチャヤの木工の道具、いくつかおしんとこにあるけど、河沢のヤコちゃんにやってもいいかな。使ってもらえる人にやった方

がいいと思つて……」

「そりや、そつしてくんない」

いうまでもなく、母の思い出も次々と語られました。特に笹の葉採りについては、毎年どれくらい採ったとか、それをどこへやったかなど私がよく知らなかったことも話に出て、興味深く聴きました。

父と母の思い出話が盛り上がったところで、大湊区の弟が自分の車の中から古い電気製品を持ってきました。

「これ、たぶん、兄貴が高校時代、下宿していた時に使ったもんだと思っただけ」
そう言ってみんなの前に出したものは電

気スタンドでした。赤と白のスイッチ、横長の蛍光管、見覚えのあるものでした。間違いない、私が使っていたものです。いったいどこにしまつてあったのでしょうか。勇が昔の物を大事に保管していることは知っていました。まさか、私の高校の下宿生活時代の物まで保管してあるとはびっくりしました。

この電気スタンド、五十年ほど前に使っていたものですが、三人の注目は電気が点くかどうかでした。最初に勇がスイッチをかまいました。でも点きません。

やはりだめか、そう思っていたところで、「俺の出番だ」とばかりにテレビの前に陣取つて、スタンドをかまひ始めたのは愛知県に住む弟です。この弟は旧源中学校を卒業後、稲沢市のある電気屋さんに勤めていた経験があるのです。

約一〇分くらい経つてからだだと思ひます。愛知の弟がついに電気を点けました。蛍光管の端が黒くなり始めていたので、無理だと思つていたのですが、見事にパツと点けたのです。三人は「おおっ」という声を出し、喜び合いました。これが一気に思い出話がにぎやかになりました。
(大湊区の弟、勇は、母の一周忌の翌日、急死しました。大変お世話になりました)

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月4日(水)	10月11日(水)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.043	0.050
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.060	0.063
東頸消防署	0.050	0.040
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.057	0.053



コンサートも気球も

ヤナギバヒマワリがいま、真っ盛りです。
安塚中近くのヤナギバヒマワリ畑のそばでは8日、コンサートがありました。気球も上がる、美味しいものも食べられるとあって、大変な賑わいでした。コンサートでは演奏者の中に何人も知っている人がいました。
お客さんの中には私の顔をわかる人が何人かおられ、レポートの感想を話してくださいました。有難いことです。

気球は子どもたちに人気でした。